

一 女人・妙・釈尊一体の事

仰せに云はく、女人は子を出生^{しゅっしょう}す。此の出生の子、又子を出生す。此くの如く展^{てんでん}転して無^む数^{しゆ}の子を出生せり。此の出生の子に善^{ぜん}子^しもあり、悪^{あく}子^しもあり、端^{たん}巖^{ごん}美^び麗^{れい}の子もあり醜^{しゆう}陋^るの子もあり、長^{たけ}のひきゝ子もあり大なる子もあり、男子もあり女子もあり云云。所詮妙の一字より万法は出生せり。地獄もあり餓鬼もあり乃至仏界もあり、権教もあり実教もあり、善もあり悪もあり、諸法を出生せり云云。又釈迦一仏の御身より一切の仏菩薩等悉く出生せり。阿弥陀・薬師・大日等は悉く釈尊の一月より万水に浮かぶ所の万影なり。然らば女人と妙と釈尊との三全く不同無きなり。妙楽大師云はく「妙即三千、三千即法」と。提婆品に云はく「一つの宝珠有り、価^{あたい}値三千大千世界なり」とは是なり云云。